

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

青 藍

令和6年度 第3号 2024年12月26日発行

学校教育目標
Go for your dream.
『夢のために、ベストを尽くす』
Sapporo.Ainosato.K.S -今の自分を越え、より高みをめざそう-

北海道札幌あいの里高等支援学校

〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1-1

(電話) 011-770-5511

「経験は強みであり自信になる」

進路指導部長 齊下和美

今年度の現場実習及び、1,2年生の普通科は長期インターンシップが終了しました。

1年生は、入学後初めての体験実習でした。中学校時代、コロナ禍だったこともあり、今回が本当に初めての実習という生徒がほとんどでした。そのような中、希望した実習先で体験をし、想像と実際のギャップを知り、2年次の実習に向けて課題を振り返る生徒や、今回の実習先が、卒業後の進路先の候補の一つになった生徒など、1年次の体験が、今後の進路に繋がる第一歩となったのではないかと思います。

2年生は、前期と後期の2回実習を行いました。1年次の実習を受け、2年次の2回で、また別の職種を体験し、卒業後の進路をより現実的に考える契機となりました。後期の実習は、1年次から数え3回目の実習であり、様々な職種を3回経験することで、これまでの体験を比較し、自分にとってどの職種が適しているのかを体感するとともに、適性を確認する機会となりました。来年2月には、3年次の前提実習先=卒業後の進路先を決定することになります。

そして3年生は、卒業後の進路希望先での前提実習が終了しました。1年生や2年生で体験した実習先を卒業後の進路先として選択した生徒もいれば、1年生でも2年生でも体験していない職種を卒業後の進路先として選択した生徒もいました。いずれにせよ、自分自身で選択した卒業後の進路希望先で、前提実習を行っています。

生徒たちは、経験することが強みとなり、自信となります。実際卒業生で言うと、今年3月に卒業した49名中35名が、1年生や2年生で体験した実習先(アルバイト先も含む)もしくは、体験同様の職種を卒業後の進路先として選択しています。一方で、2年生の段階で、計3回の実習を経てもまだ進路先を決めかね、新たな職種でチャレンジをした結果、進路先を決定した卒業生もいました。

生徒たちの将来の可能性を広げる意味でも、実際の現場での経験は多い方が、生徒たちはより自分に適した進路先を自分自身で選択することができると思います。実習はもちろんのことですが、長期休業などを活用した事業所体験なども積極的に行っていただくことで、経験の拡大を図るとともに、進路先の選択肢も広がっていくと考えます。

これからも、自分の進路は自分で選択(自己選択)し、自分で決める(自己決定)を“とことん”サポートさせていただきます。本校の進路指導への御理解と御協力、どうぞよろしくお願いいたします。



≡ 現場実習 ≡

～各学年からの報告～



1 学年



私は、10月21日から4日間、『美工堂 阿部組』へ現場実習に行きました。

この4日間で仕事の大変さと感謝を学ぶことができました。

私はこれまで、働く人達の大変さがわからなかったのですが、今回の現場実習でそれを知ることができました。

仕事は大変な上に、なかなか上手いかわからないこともあれば失敗もありました。

しかし、その中でも仕事ができる喜び、そして楽しさもあるということがわかり、大変貴重な体験をさせていただきました。

(1年1組 生産技術科 西高龍聖)

2 学年

私は、デイサービスセンターで現場実習を行いました。血圧測定、体操、レクリエーション補助、昼食の配膳をさせていただきました。

初めは、利用者様に自分から話し掛けられませんでした。配膳やレクリエーションの時に「ありがとう」と言っていたことや、利用者様から話し掛けてもらった時は嬉しかったです。

落ち込むこともありましたが、気持ちを切り替えて、最後まで実習を行うことができました。

これからは強い心を持てるように、自分から新しいことにチャレンジしていきます。

(2年6組 福祉サービス科 松本優奈)





私は前提実習で、縫い物や造花作り、ビル清掃などを行いました。

実習を終えて、改めて感じたことは、コミュニケーションの大切さです。理由は、仕事中に周りの人と声を掛け合うことで、仕事に見通しを持って進められると思うからです。

また、敬語を正しく使うことで、職場の人と気持ち良く会話ができ、良い人間関係を作れると思います。

これからの学校生活で実習での学びを生かしていきます。

(3年3組 被服デザイン科 木戸口 彩乃)



学 校 祭



皆さん、学校祭おつかれ様でした!!

学校祭実行委員長から

学校祭1日目は生徒会執行部と学校祭実行委員によるオープニングセレモニーから始まりました。生徒有志発表では総勢23組による歌・ダンスなど披露し、とても盛り上がりました。これほど盛り上がったのは、生徒会や実行委員だけではなく皆さんがここまでたくさん練習し頑張ってきたからだと思います。

学校祭2日目は各学年によるステージ発表と学科販売が行われ、今年は6年ぶりに地域の方も来校できる学校祭でした。例年よりたくさんの地域の方・保護者や卒業生に来校いただきました。皆さんの頑張りがあったからこそ、たくさんの製品が売れたと思います。

今年の学校祭テーマは、「百花繚乱～はじける青春フェスティバル ワクワドキドキな大冒険」。この学校祭テーマを、学校祭だけで終わりにせず、これからも百花繚乱のようにはじける学校生活にしていきたいと思います!

(3年5組 福祉サービス科 稲邊 心愛)



1 学年

学年目標である「あいの里 BASE」のもと、学校生活の土台作りを進めてきました。学校生活にも慣れ、様々な場所で良さが目立つようになっています。

そんな生徒たちを見て、学年テーマを「輪 一つながろうー」にしました。楽器演奏・ダンス・合唱・バック絵などの制作を通して、学級や学科を超えた関わりが深まりました。多様な考えを認め合ったり、意見を伝え合ったりしながら準備を重ね、無事に本番で披露することができました。



(文責: 宮丸 恭平)

2 学年

「なりたい自分になれるように、今を楽しみ、これから進化・成長をしていきたい」と取り組んだ2学年の学校祭。『今』を表現するため、自分で選んだ教科のグループで仲間や担当の先生と一緒に作り上げました。それぞれがそれぞれの場所で頑張り、お互いを拍手し合う姿は、昨年とは違い、自信とたくましさを感じました。いつの間にかスイッチを ON にし、静かなエンジン音でアクセルを踏んでいる2学年の生徒。どんな進化・成長を見せてくれるのか、こっからが楽しみです。(文責: 板橋 敦子)

『From Now On』～こっからさ!～



3 学年

今年の3学年ステージ発表テーマは、「未来・チャレンジ・感謝」。学年のリードメンバーで話し合い、3学年にふさわしいテーマとして決め、劇、映像、美術、ダンス、歌、バンドとこのテーマを表現するために活動に取り組みました。1年時から培ってきた一人一人の力、みんなの力を集結させて、精一杯頑張り発表を成功させる・・・こんな思いを胸に、生徒たちは練習から当日まで頑張り抜きました。3学年の思いが詰まった今年のステージ発表はいかがでしたか。生徒たちの思いは皆様に届いたでしょうか。

最後の学校祭、大切な仲間と共に過ごした楽しかった日々は、深く生徒たちの心に刻まれたことと思います。その思い出を大切に、残りの学校生活もやりきって欲しいと願っています。

保護者の皆様、ステージ発表や学科企画へのご協力、温かいご支援、ありがとうございました。

(文責: 鈴木 奈都)



3 学期始業式は 1 月 20 日 (月) です。
また元気に皆さんに会える日を楽しみにしています。
時間を大切にして、有意義な冬休みをお過ごし下さい。

